

いま求められている社会貢献活動を継続的に支える

一般社団法人
パチンコ・パチスロ社会貢献機構
代表理事

宮廻 正明



皆様方におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。日頃より、「一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構」の活動に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。私事でございますが、当法人の代表理事の任に就きまして、3年が経過いたしました。この間に皆様から寄せられました温かいご支援に感謝申し上げますとともに、微力ながら今後も引き続き努力していく所存でございます。よろしく願いいたします。

2024年は元日に能登半島地震が発生し、想像を超える被害に言葉を失いました。さらに9月には地震からの復旧の妨げとなる豪雨に見舞われたり、全国的に記録的な猛暑が続いたりするなど、自然の猛威にさらされました。能登半島地震に対しましては、震災復興支援として、発生直後に当法人の助成実績がある2団体に特命助成を実施しましたが、今後も復興の状況を見守り、支援していきたいと考えております。

さて、当法人は前身の「全日本社会貢献団体機構」時代を含め、2025年には設立から20年という節目の年を迎えました。その間、学術・文化の振興、命を大切にする研究・活動、子どもの健全育成、地域コミュニティの活性化などの分野で活動する団体、また2011年の東日本大震災発生以降は日本各地で続発する自然災害からの復旧・復興の支援に取り組む団体などに、その活動の糧となる助成を実施して参りました。さらに2019年からは、喫緊の課題であるパチンコ・パチスロ依存問題の予防や解決に尽力する団体への助成も行ってきました。併せて、当法人の設立当初からの事業である遊技業界が都道府県・支部組合・組合員ホール単位で実施している優れた社会貢献活動に対する顕彰も継続的に行っております。

昨今、社会貢献やボランティア活動などに対する一般の関心が薄れがちと指摘されているなかで、当法人の助成が活動を支える礎となっているという感謝の声も寄せられております。今後も当法人では時代を見据えた柔軟な思考と姿勢のもと、多様な社会貢献活動に資する事業に継続的に取り組んで参る所存です。皆様方より一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。